【仕様書-様式第９号別添】

生涯現役促進地域連携事業（〇年度開始分） 総括アンケート

協議会

生涯現役促進地域連携事業について、３年度間の実施体制、事業実施による高齢者就業機会確保の成果・波及的効果、事業終了後の取組、並びにこれらに対する評価を下記によりご報告ください。

なお、当該報告は、今後の制度のより良い運営や対外的な事業効果の説明の参考とする観点も有しているものですので、ご協力をお願いいたします。

記

１　事業の実施体制

(１) 協議会の推進体制

協議会メンバーのうち、どのメンバーが中心となって事業を実施したのでしょうか。また、地域の関係者である協議会のメンバー間で意識を共有するために、具体的にどのような取組みを行ったでしょうか（協議会の開催日等の実績は別紙１へ記載してください）。

|  |
| --- |
| （記載例）  ・市が中心となり、年○回程度、協議会メンバー同士で検討・協議するために事業実施に関する実務担当者会議を開催していた。　　など |

(２) 計画区域内外の有識者等の活用

本事業に取り組むに当たって、大学の教授や地域のＮＰＯ団体、他省庁の専門アドバイザー、シンクタンク、コンサルタントなど、計画区域内外の有識者等を活用された場合、その活用方法等について教えてください。

|  |
| --- |
| （記載例）  ・○○大学△△学科の□□教授に、協議会の有識者オブザーバーとして参加をしてもらった。事業構想の策定検討段階から参加していただき、●●などの有益な示唆をいただいた。  ・高齢者の就労等に取り組む地域のＮＰＯ団体に、協議会のオブザーバーとして参加をしてもらい、これまでの活動の観点から、事業構想の内容や効果的な事業実施に関して、○○などの有益な助言をいただいた。　など |

(３) 協議会方式に対する評価

本事業は、地方自治体と地域の様々な機関で構成する協議会を実施主体とする仕組みを採用していますが、この協議会方式についてどのように評価されているでしょうか。

|  |
| --- |
|  |

（４）地域住民等との連携

　　　協議会内だけでなく、関係者や地域住民を巻き込んで連携して実施できたでしょうか。また、そうするために行った工夫があれば記載してください。

|  |
| --- |
| （記載例）  ・地元マスコミと連携しセミナー等の周知を行った。  ・重点業種の関係団体である○○にニーズ調査への協力を依頼し、回収率向上を図った。  ・モニタリング対象企業の選定時に○○団体に協力いただいた。 |

２　地域の課題への対応

(１) 事業構想上の地域の課題（別紙２へ重点業種ごとに記載してください。）

（２）高齢者就業機会確保の成果

生涯現役促進地域連携事業は、地方自治体が中心となって構成される「協議会」等からの提案に基づき、地域における高齢者の就労促進に資する事業を幅広く実施する事業です。本事業実施により、高齢者就業機会確保に、どのような成果をあげたかを、具体的（定量的）に記載してください。

|  |
| --- |
| （記載例）  ・シンポジウムやセミナー等の各種支援メニューを実施し、その後、相談窓口へ誘導し、○○等の取組を組み合わせ、３年間で○○人の新規求職登録、○○人の雇用に結びついた。  ・ニーズ調査やシンポジウムから把握した、高齢者雇用に興味を持った企業へ訪問し、業務分析、提案、仕事の切り出しを行った結果、求人開拓に〇件成功し、うち〇件が雇用に結びついた。求人開拓した職種には、事務職、営業職、販売員等、高齢者のニーズに沿った新たな職種を開拓するなど、地域の就業機会の拡大が図られ、事業構想段階での想定を上回る成果を上げ得たものと考えている。  ・求人開拓した重点業種別にセミナーを年〇回開催し、３年間で〇人の参加者となった。また、同セミナーでは、企業を誘致して合同説明会を併せて開催することで、○○人の雇用に結びつき、地域企業での就業機会がさらに拡大された。  ・重点業種の企業の職場体験を実施し、○○をメニューに盛り込むことで、高齢者の意識に変化が見られ、その後実施された面接会において○○人の雇用に結びつき、地域企業での就業機会が拡大された。  ・セミナーを受講した累計○○企業のうち○○件の企業訪問を実施し、仕事の切り出し等の提案の結果、○○件の求人を開拓することができた。職種は○○が多く、雇用形態はフルタイム、短時間勤務と高齢求職者のニーズにあった条件での求人を開拓し、結果、○○人が雇用された。  ・ホームページを開設し、各種イベントで広報に努め、当初の目標よりも〇％増のアクセス〇件数となった。また、満足度も90％以上であることから、今後は県の事業として実施していく予定。 |

３　事業実施による効果

　上記２（２）の成果のほか、３年度間の本事業の実施による波及的効果等について、具体的（定量的に）に記載してください。

|  |
| --- |
| （記載例）  ・求人の確保には至っていないものの、セミナー後のアンケート調査の結果では、企業側の高年齢者のイメージが払拭されたとの声（〇％）が寄せられており、地域の機運醸成に一定の効果が図られた。今後は、市の事業として、高齢者雇用に興味のあった企業を再訪し、フォローアップを実施する予定。  ・企業向けニーズ調査の結果、地域の人手不足の業種や職種、○○がより鮮明となった。調査結果に基づき事業所訪問を行い、○○の仕事の切り出しができた等の好事例を集約したガイドブックを作成し、〇部地域へ配布した。今後は当該ガイドブックを活用し同業他社への求人開拓を年〇件目標に市が実施。  ・高齢者向けニーズ調査の結果、高齢者側の○○等の課題と多様な就労ニーズを把握することができた。支援メニュー○○に調査結果を反映し実施したところ、○○の効果が得られた。引き続き当該取り組みを○○が継続して実施し、高年齢者の就業機会の確保に努めていく。  ・シルバー人材センターの会員登録に苦慮していたが、本事業のセミナー会場にシルバー人材センターの出張相談窓口を併設することで、新規登録者が３年間で〇件となった。今後も引き続き、市主催のイベント等に参加する予定。 |

４　事業終了後、高齢者の就労機会の促進に向けた地域の取組

(１)事業終了後の地域独自の取組

本事業実施の経験・成果を踏まえた地域独自の取組を、具体的に記載してください。予定・検討中の場合は、その旨を明記するとともに、できる限り実施主体・実施内容・実施時期等の予定を記載してください。

※地域協働コースを実施する（又は見込みの）場合も記載してください。

|  |
| --- |
| （記載例）  ・３年間の実績を踏まえ、市が○○を新規で令和２年〇月から実施  ・協議会構成員の○○が新たに○○を令和２年〇月から実施予定  ・３年間実施した○○は、ノウハウを県が承継し、令和２年〇月から実施予定  ・○○を令和２年４月から地域協働コースで実施　など |

(２) 事業終了後の協議会組織

事業終了後、協議会の組織は、どうされるお考えでしょうか（存続又は解散）。存続させることとしている場合は、今後の協議会の役割、事業内容等を教えてください。

※地域協働コースを実施する（又は見込みの）場合も記載してください。

|  |
| --- |
|  |

５　３年度間の総括的評価

３年度間の本事業実施の取組や効果などについて、どのように評価されているでしょうか（支援メニューごとの実績・評価は別紙３に記載してください。）。

|  |
| --- |
|  |

６　意見、要望等

　(１) 地域における高齢者の就労機会の促進に繋げていくためには、何が最も重要とお考えでしょうか。

|  |
| --- |
|  |

(２) 今後の参考とするため、「国の高齢者雇用対策施策全般」に対して、ご意見、ご要望等があれば、自由に記載してください。

|  |
| --- |
|  |





